

'19のべおか

第九

のべおか第九だより (第581号)

2019年10月14日 (日)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

ホームページ <https://dai-9.info>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。 ----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
○ A (237~330小節) p.9~18	◆ ソプラノ	24 人	17 人	70.8%	70.0 点
○ B (411~654小節) p.21~35	♥ アルト	35 人	26 人	74.3%	68.6 点
○ C (655~762小節) p.35~47	♣ テノール	16 人	11 人	68.8%	60.0 点
○ D (795~920小節) p.50~63	♠ バス	20 人	13 人	65.0%	72.2 点
12月14日まであと 61 日。	● 合計	95 人	67 人	70.5%	68.3 点

♪“…e”は延岡弁の“(なんしよっとけ)え”の“え”です。



@ 「第九」 10月6日の指導

その付近の注意 ●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意 ○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

…… 複数回の注意

★ お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

★ 【お話し】 (ひととおりMの部分から歌った後で)昨日、大分で初めて練習しました。今日はセットでいつものように延岡に伺おうとお話ししたところ、まだ早いと。できてない。できてなくて結構。それで申し上げたのはみなさんが出来上がったときには、皆さんが解釈したテンポであり語尾の長さであり、様々な今まで歴史を紡いできた分だけのいろんなものが積み上がってるわけですよね。それを、いち早く私がこういうふうに考えますよということをお伝えするのが最優先です。それから練習されたいいいのです。出来ましたと言って12月に伺ったら、みなさんがやってらしたと僕の違いを一生懸命直そう直そう、修正しようとか変えようとかということにエネルギー使ってるうちに本番が過ぎてしまうということがよくあるんです。なので、皆さんが10月にどのくらいかはまあ今コメントしませんが(笑)案の定いろんなことがありますので、それをまず確認いただきたい。Mのところ、速いです僕。ということは自ずと男性のマーチも速いです。

……まず語尾で“…n”。今うかがうと、ほとんどの所“…m”(口を閉じてしまう)になってます!? これは念仏の“念”、これは歯を見せていただくでもいいですけども、決して唇は閉じないです。

○ 238 【Freu-de!】 (最初にMの部分から通して歌ったあとに)柳田先生がさっき練習されてたように響きを後ろにあるいは丸くとして響かせるのがいいのに、日本男児ここぞとばかり“Freu-de!”とへの字に口を結んで響きを止めてしまうのをよくお見受けするので、皆さんの歌声を聞く前に申し上げるのもなんですが、それに近いものが今あったので口の処理、それから語尾の処理は基本的に拍内です。“vor Gott.”は例外です。それ以外は拍内です。……これも行ったつきりではなく、手元に戻してください。自分ところに戻してください。“へ”の字に結ばない!! 解放。“歓び”笑顔。エネルギーを全部。さっき要領をお話ししたはずなんだけど、“Fr(拍1の頭で)eu-de,”。そういう意識を持たばへの字に口を結んだ顔って出来ないと思うんだ。自分とこに帰って来るんだもん。



● 257 【Dei-ne Zau-ber~】 (264小節まで一旦歌って)そうそう。ほとんど言うことないね。前にやったことが十分にみなさんの身につけてますね。もう一回確認しよう、テナーがギッタンバツタンねえなんでこんなことベートーベン書いたかねえ? 電話して聞いてください(笑)。

○ 257 【Dei-ne Zau-ber】 “Dei-ne Zau-ber”は皆さんちゃんと“…Zau-ber”に向かっています。良いです。

○ 258 【bin-den wie-der,】 “bin-den”が跳ねるから“wie-der,”が寝るのね。“bin-den”の“…n”は鼻に響かせる。

……跳ねてくださいと言ったらテンポまで跳ねちゃった!?

● 259 【was die Mo-de~】 一つができると一つができない!? “was die Mo-de”が良くて“streng geteilt;”まで持ってない!? “was die Mo-de streng geteilt;”。皆さんの持続力のなさが最大の欠点です!! もっと欲張りしましょうよ。

○ 259 【was die Mo-de】 “was”はそのへん走るバスじゃなくて“ヴァス”。唇ちょっと軽く噛んで“was”。“Mo-de”はさっき(563小節)やったように深い“モー…”。

○ 260 【streng geteilt; al-】 “streng geteilt;”の“…ge-…”は鼻濁音で大丈夫です。“ゲゲゲ”の“ゲ”じゃなく“streng geteilt;”。(勢いは)“…teilt;”のほうに行く。

○ 285 【wer auch nur】 “Ja, wer”は“Ja,”、“wer wer auch nur”(分ける)です。“ヤアベル”じゃないです。いい直します“Ja,”、“wer wer auch nur”。

- 289 【_ wer's nie ge-~】 “der”のdimがあるんだけど、dimを強力にしすぎると“wei-nend sich…”が死んじゃいますから“nie”は“never”と否定してもらって良いけど、そのあと(290~292小節)まで持たないです。

……(“der”からの) dimが早い、多い!?!? “nie ge-konnt,”が聴きたいんです。(dimが早いと“…kont”が聞こえず)そこで腰砕けになっちゃうから“wei-nend…”が生きてこない!?

- 290 【konnt, der steh-le~】 試しに“wei-nend”の前にプレスを禁止したらどうなりますか?? …いけるじゃないですか!! そこでプレスをとるから“wei-nend…”の響きがなくなっちゃう!? プレスはとらない。

- 291 【wei-nend sich aus~】 “wei-nend”の“wei…”は“was”の“wa…”と“w…”が同じ (唇を少し噛んで)。

……皆さんそこでpになるから呑んじゃって後ずさり!? “wei-nend sich aus die-sem Bund.”と前に進みましょう。

……cresc.しないでね。進んでねえ進む、増えない。

- 292 【die-sem Bund.~】 “Bund.”、“ブーン…”!? “ブォーン…”。

- 313 【Küs-se gab sie~】 (一通り歌って) なんかどっかで跳ねる練習、された?? これは音を縫って行く音楽です。“Küs-se gab sie…”振り子じゃないんです!! ずっと縫ってないと。針を途中で抜かない。

- 321 【und der~】 “und der che-rub…”の“che-rub”は確かに言葉は一つですが、隙間の開け方は同じです。“und der che-rub…”。皆さんは“che-rub”繋がってる!?

- 321 【und der】 “und”の“u…”は深い“ウ”。

- 422 【Sie-gen,】 良いですねえ“sie-gen.”。“…ゲム”とおっしゃらないところが。



- 543 【Freu-de,~】 みなさんはアイドルング、ご存知ですよ。アイドルングされて来たぞというときに爆発です。ものすごい勢いでみなさんが爆発しながらこの後の男性のところ(595小節)まで一気に成りに行きたいです。それを歌い切る覚悟をお願いします。

……ソプラノ、良いテンションです。でもほかの皆さんは出遅れています。テンションで負けています。ソプラノ凄い勢いで引っ張ってますが、アンバランスなように皆さんのテンションは上がってこない!? それはもちろん発声の問題もありますけども、この渦のような“ヤタタタタ タタタタタ…”という音楽に皆さんが呑まれてしまっている!? 皆さんはそれの上に乗かって、狂喜乱舞、歓びを歌い上げる。皆さんが昨年までされてた、あるいは長い歴史の中でこんな速いテンポは歌ったことがないとおしゃるかもしれないけど、このテンポです。ごめんなさい。

- 543 【Freu-de,】 “ファーソラ Fr(拍の頭で)eu-de,.”。“…eu-de,.”の母音が間に合うように。皆さん、“風呂入ろう”って“フ…”から思ってたらっしやる!? “eu-de,.”が(拍の頭に)間に合うように“Freu-de,.”。…男性、遅いです!? ……男性、わずかに間に合いますか? もう少し出られますか?? “Freu-de,.”。“…eu-…”が間に合うように前でもしフライングがあると思ったら“…r…”を巻いていただきたいです。

- 549 【ly-si-~】 “E-ly-si-um,.”。“E-”,“ly-si-um,.”ってしゃっくりのようにならないように。それ以外の爆発(sf)はソプラノますます良いです。みなさん足りないです。……“aus E-”,“ly--si-um,.”じゃない。“aus”“E-ly-si-um,.”。

……そう! それで一安心したら遅くなったでしょ!? “aus E-ly-si-um, (オッケー!)”オッケーと思ったら遅くなったでしょ!? 今の感覚、ソプラノ良いですねえ。表情も良いし、大丈夫ですか?皆さん。ついてきてます

か?? (ソプラノ以外)皆さん、ポカーンとして(ソプラノは)わかったわかったというリアクションがあるんだけど男性陣、起きてますか?? そうそう。そのリアクションが欲しいです。温度差があります。(男性陣は)熱低いです。大丈夫ですか??

- 553 【feu-er-~】 “feu-er-trun-ken,”。“feu-er-”はとっても良いんだけど、“…-trun-ken,!”?最後の“-n,”をちゃんとおっしゃれば良いんです。でも無理ってブレスの準備になってるから!? “…-trun-ken,”の“-n,”。
- 556 【sche, dein~】 “dein Hei-lig-tum!”、“…n,”“ Hei-lig-tum!”、さっき(553,554小節)と一緒に。
- 563 【was die~】 後半苦しいところではありますが、“was die Mo-de”。もう少し“Mo-”が深い音で“…o-”の母音が欲しいです。“was die Mo-de streng ge-teilt;”までエネルギーが持続したいです。
- 595 【Seid um-~】 そこ、どこへ向かいますか?“ザーっ”と庭に水を撒きますか?? 今、“ザー…”でどこにも? それっきりなんです!? “Seid”これはもう少し丸いものをイメージしないといけません。“ザーィd”と入り口に戻ってくるんです。そして“um-schlun-gen,”
……“…d”を感じるために(“Seid”を歌う時に)弧を描くんですよね。全部手元です。
……今、出来たんですが、音が低くなるとテンションも下がりますね(“…schlun-gen,”、“…o-nen!”)!? 音の高さとテンションは別ですから語尾までテンションをキープしておいてください。
- 596 【schlun-gen, Mil~】 “schlun-gen,”はスタッカートがありますから、この先の“Mil-li-o-nen!”は皆さん繋がってますけど、もう少し切れ目を意識してください。ブツブツとは言いません。“schlun-gen,”ここにも立体的なものを感じますか?? “…li…o…nen!”。
- 598 【o-nen!】 “…o-nen!”?? (“…n!”で口を閉じている??) “…n!”ですよ。口をこう(大きく開く)していただけても良いんですよ。唇を閉じないように。唇を閉じた瞬間に“…念”仏になります。
- 599 【Die-sen~】 “Die-sen Kuß der,” “gan-…”じゃないんですね。“der gan-zen Welt!” (“der”と“gan-zen Welt”は繋いで歌う)。この“…Welt!”まで音楽が進む感じを体とエネルギーで。もちろん肉体はきつい所に居ますが“…Welt!”までどうか進んでください。……“Die-sen Kuß…(ドードーシ…)”この寂しい“Kuß”嫌ですよ。(今のは)全然キスしてないですね。
……“der”から“gan-…”に飛ばない!? 逃げない逃げない!! 柳田先生が先ほど発声やられてましたよね。その感じですよ。
- 600 【Kuß der】 “Die-sen Kuß”。Kußはお好きですか? 野暮なことは聞きませんが、僕はあまり長いキスは好きじゃない。ベツチャーじゃなくて、プシュン!! (笑)。
- 602 【Welt!】 そうそう。その語尾(“…t!”)は小節線をまたぐ前に切ってください。今みなさん素晴らしいですね。言わずもがなで先が良くなって来ましたね。
- 603 【Seid um-~】 女性の皆さんは、男性が雄々しく歌ったそれに対して、私たちが負けじじやなくて女性らしさが欲しい。もう少し柔らかくハーモニーを感じましょう。
……それが女性らしさですか?? 四声帯のソプラノ。私が目にはいらぬかあ(笑)という所じゃないんです。さっきの(男性の)テンションと全然違う面を見せてください。



……それは声楽的にアウトですね。声になってないのね。女性らしくやさしく柔らかくフレーズを紡いでください。

○ 603 【Seid um-】 “…ei…”の前に“S…”があるから“S,ei…”と思うから遅くなるんですね!? “Freu-de,”も前に出ると言いましたよね。“…eid”の前に“S…”が付いているんです。“S…”は鼻(に響かせる)です。“…ei…”の前に鼻鳴らしたって全然問題ないです。鼻、鳴らしといてください。

……それです!! 保存(記憶)してください。

● 604 【schlun-gen, Mil~】 (一旦歌った後)もう一度やりますから皆さん、ご自身の近くのパートではなくて四声。まさに合唱の聴かせどころというか、この四声がどのようにハーモニーに使っているかに注意を向けて歌ってください。

○ 606 【o-nen!】 そこは切れと(楽譜は)お願いされてませんね。今、みなさんで「空を飛ばう」と話しているんです。横に横にという音楽を作っているんです。耳は縦に聴いていただきましたけど、皆さんが飛ぶのは横です。

○ 607 【Die--sen】 横に飛んでいるときに“Die…”って何かありました? 低気圧に入りました?? その横に飛んでいる中で“…Die…”というsfが痛い!? さっきから凄いそこ張り切ってらっしゃるんだけど、この横に飛んでいるときに何か邪魔者が入ってます!? sfの質が違う。もうちょっと深いsfをお願いします。良くなりましたよ皆さん、横に飛んでいる響きも綺麗。綺麗だと思ってくださいました?? これが積み重ねですよ。そうじゃないものをずんずん積み重ねても悪い癖しか残りませんから。良い声を皆さんで出せるんです。これをメモ(記憶)してください。今、保存(記憶)ですよ。



○ 608 【Kuß der】 今の“Kuß”粘っこい!? ベッコヨ~(笑)。ね、ルージュが付いた!?

○ 610 【Welt!】 今の、どうですか? 美しかったですか?? それぞれのパートを主張しただけですね。世界がバラバラです。今の世の中と同じです。ベートーベンの理念はもう少し世界が一つになりたいという願いもここに入ってくるんですね。アメリカファーストじゃなくて。

……テノール、それは他のパートの音だよ!! それがレ・ファ・ラのひとつの大事なファなんですけども、その音次第でこの響きの質も色も全部変わる。でも皆さんも決して楽じゃないですよ。楽じゃない音を「出ましたあー」じゃなくて、この三声の中にどういうふうに入るかです。じゃ、ほかの方たちだけで。あとでテナーに入ってもらいます。バスとソプラノのレがあってアルトのラの枠組みをしっかりとってあげないと、そこにテノールが入れない。…で“…e…”の母音は日本人が使うエではやさしくないですね。“あっかんベェー”の響きに一生懸命歌うとどんどんそっちに行きます!? “…e…”をもう少し丸く上品に、もう少し確かなものに大事にしてください。

……柳田先生、バスが“…ベェ…”とベっちゃんこなんですけど、どうしたら良いですか? (柳田先生: “エ”と思わないで、例えば延岡弁だったら、なんしよっとけ“エ”というような“e”。) …それ、それでいてください。延岡弁の“e”。……随分良くなりました。テノールがFisを頑張ろうとするとやっぱり標準語の“エ”になるの?? 延岡弁のようが良い。

● 611 【Brü-der!~】 男性、ここからは雄々しい男性。“Seid um-schlun-gen,…”(595小節~)のように皆さん出てきてください。

……“Brü-der!”と名ざしします。呼びかけです。“ü-ber'm Ster-nen-zelt (星空の彼方に)”。今、始まったばかりです。“Brü-der! (皆さん)”って言ったばかりのときに“…??”。ここに指を付けておきましょう。僕に歌いながら指さしてください。

……そう、それ!!。今、指差したときに“-der!”だけ別物になったけど、意識はもうちょっと前から指さしてください。

○ 611 【Brü-der!】 “…r!”が巻いていれば良いんですけども、口を閉じるとそこで響きが止まっちゃう!? “…r!”を巻いて唇は閉じないんです。……“Brü…”を前(“…ü…”が拍の頭)。

● 615 【muß ein~】 “ein lie-ber Va-ter”。つらいですよ“Va-ter”に行くのにね。高いとこ飛ぶのに嫌ですけど、“ein lie-ber”と“Va-ter”を切らない。他のところでは切っても良いです。苦しかった“Va-ter”歌ってから切っても良いです。“ein lie-ber Va-ter”はプレス禁止。今、女性陣、証人ですけど良かったでしょ? 他のところにも出てきますから。この後にやさしく出てきますからね(623~624小節)。指さしても良いですよ。

○ 618 【woh-nen.】 “woh-nen.”どっちが重さがあるかという“woh-”です。“-nen.”で念を押しちゃだめですよ。どっちかという“6-4”ぐらいの割合で減らしてください。で、間をあげながら“woh-nen.”。……言葉だけ切るんです。息は流したままです。

● 619 【Brü-der!~】 空を飛んでいるんですけどね。空を飛ぶの忘れてるでしょ今。行進しています今!? 空を飛ぶんです!!……数えて!!!

……今度は“-der!”タイミングO.K.だけど、“-der!”はどうですか?“Brü-der! ü--ber'm Ster-nen-zelt”と空を飛んでるの、忘れたでしょ。しつこい?? 大丈夫!? そしてね、皆さん保存(記憶)してくださいね。削除しないでくださいね(笑)。ちゃんと保存していかないと12月まで持たないです。そのために10月運動会シーズンに来たんです。もうちょっと運動会がなければお集まりだったろうに。今日、来た人は特ですよ。みなさんの保存を差し上げてくださいね。

○ 619 【Brü-der!】 “ü…”が間に合うように“Br…”を前に。

……“…ü…”の母音の質が!? ゆっくり刀を抜くようにこれが見えぬかという出しかたね。今は“ブリ…”!? もうそこで切れちゃってるよ!?

……その呼びかけの指さす“Brü-der!”にはコツがあって、この次にそれぞれお休み(620小節)があるでしょ? そのお休みをどうとるかで決まるんです。“Brü-der!”で(気持ちは)切れないんです。そこで指パッチンが聞こえるように皆さんがお腹を引き締めて次の準備をすることが休符をとるということで、同時にそれが呼びかけの“Bru-der!”の“…!”になりますから。



……“-der!”遅い!! 皆さん3の合図をあげるから…(歌って)そうでしょ。3がなければ裏“-der!”はないんです。3を皆さんで感じながら空を飛ぶんです。

○ 620 【ü--ber'm】 “Brü--der!”で!? “ü-…”が遅い!? リズムを持ちながら空を飛ぶ。行進するんじゃなくて空を飛ぶ。

◇ 622 【zelt muß_】 早く出てくるバスがね、ここでいち早く音が変わる。前の語尾をいち早く切り上げてでも時間内に変わらないと流れが途切れちゃいますよ。おわかりの方は何人もいらしゃると思うけど、実際のところそこ出遅れますからお願いします。

○ 622 【zelt muß_】 “muß”遅い、遅い、遅い!!! 遅いと言われたら早くという連鎖がないと同じことを10回も言いますよ。遅いですよ。“zelt muß”。一歩前に出ないと。皆さんが一歩前に出ないと。

● 623 【ein~】 プレス禁止!! “ein lie--ber Va-ter”。

● 626 【woh-nen.~】 (ここまで通して歌って) O.K.“woh-nen.”も良く出来ました皆さん。ほとんどの方が“…m”じゃなかった。嬉しいです。で、そこにスタッカート付いていなかったら僕のベーレンライター

版にも付いてないから、男性と同じように女性も分けます。“woh-nen.”僕は分けます。ほかの時にはまた修正してください。

♣ 631 【Ihr_ stürzt~】 ちょっとテナーが怪しい音程なんだけど。

○ 631 【Ihr_ stürzt】 皆さん、心境わかるんだ。ここきたときに嫌なときたなと思うでしょ(笑)。それじゃ絶対良い声は出ないの。皆さんの顔色見たらわかるな、ここやばいの私たち(笑)。そういうところだから“Ihr_”は幽霊みたいな声しか出ないから。今、この前奏ね、皆さんにとっては嫌でしょ?? だからいきなりここは音を取りましょう。…じゃここもまたテナーなしで…、「イーだ」っていう“イ”じゃない“イ”はどこにあるんですか? 柳田先生、延岡弁で??(柳田先生:「イ」は…“イ”って言わないことではよね(笑)。)」) “イ”って言わなきゃなんて言えば良いんですか? “ダメ”って言うの(笑)。“イ”じゃない“I…”ね。“エ”に近い“I…”だったらどうですか? じゃ振り方を皆さんに。“1,2,3…”、この“…3…”の音が聞こえたら“…r”。そこで僕、そこで指揮棒が落ちますから、その時に“stürzt”。はい5本指出して、“s,tü,r,z,t”。“シュシュシュ”じゃなくて(笑)。“stürzt”は棒が落ちた時にダダダダと“s,tü,r,z,t”。

……良い声だったと思うんだ。思いませんか? “イ”じゃない“I…”。……理屈はわかった?? それと“<>”ありますから、ちょっと息を増やしてください。

○ 632 【nie-der,】 もう少し響きを。切ろうと思わないで良いから“nie-der,”ぞうさんのお鼻のように。

……ちょっと切れ目入れて…カンマ入れないで往復運動の中で分水嶺。……そう。それが“Ihr_ stürzt”の後に欲しいんですけど、多くの合唱団は“Ihr_…”(怯えてる) stürzt (ごめんなさい)”。になってる!? “Ihr_ stürzt nie-der,”今のC dur美しい深い響きになるように練習しましょう。お願いします。



……あ、ごめんなさいしてる!? 何? 終点に着いた地下鉄みたいに行ったり来たり!? じゃ、往復じゃなくて延岡通過“nie-der,”。そっち!! ぞうさん良くなかったね。……停車時間はないです“nie-der,”。それ!! それ“Ihr_”から来るかな??

○ 633 【Mil-li-】 “Mil-li-o-nen?”は“M…”をおっしやるため、どうしても唇が閉じます。でもさっきやった“nie-der,”から“ンーM-”と息を止めないで“Mi-li-o-nen?”。“ン…”で皆さんは息が止まるから音程がなくなるのね!?

○ 634 【o-nen?】 あーやっちゃったあ!! “-nen?”(口を閉じない)。“Mil-li-o-nen?”は“M…”をおっしやるため、どうしても唇が閉じます。

……“-nen?”、クエスチョンマーク。……“o-”“-nen?”は同じニュアンス。

○ 635 【Ah-nest】 ここ、怖いと思いますけど、“Ah-nest”の“A…”は明るい母音ですから口を大きく開けて健康的に“アー”。あー素敵、あー綺麗、あーおいしい。その“Ah-”。……さすがに明るすぎたかな??

○ 637 【Schöpfer,】 “Schöpfer,”はスタッカートも何もないのに書いてない!! “Schö , pher,”と言おうとして短くなっている!?

○ 638 【Welt?】 僕は例年より短いです。僕違います。“Welt?”(3)“Such'…”。

● 639 【Such' ihn~】 (642小節までハミングで歌って)ハミングのfってそんなもんですか!? ここが一つの難所でその次もっと難所と皆さん思ってるでしょ。これがハミングで出せれば絶対に音程はくるいません。ハミングやって次やると絶対うまくいくんです。でも言葉を喋った瞬間にずり下がる!? ね、皆さん痛い思いいっぱいしてると思う。ハミングで必ずクリアしましょう。そしたら“Such'”は鳥肌がたちます。

○ 639 【Such' ihn】 “Such!”は鳥肌が立つように。

♡ 643 【Ü-ber】 同じ狙い所に“ソーミー”って。“ミー”はどっかに飛んでいったり高いところに跳躍したりしない。みなさん鍵盤でいうと6度、そこへ飛ばないといけないと思うから体のポジションが変わっちゃうのね。声楽の強みは同じポジションでいろんな声が出せることです。“ソーミー”は鍵盤を追わない。お腹でひっくり返す。

○ 646 【woh-nen,】 ここも全然長い!? これも拍内です。必ず(指揮棒で)切りますから、切る準備をしてください。

○ 654 【woh--nen,】 “…n”は口を閉じない。

◆ 655 【Freu-de, schö-ner~】 この形が出てきたら、どのパートもトランペットです。……やっぱり音がみなさんとして得意な所と少しきついなという所がもうちょっと均されるといふかバランスがとれると良いですね。

♥ 655 【Seid_ um--~】 この付点2分音符が繋がるパターンがほかにも出てきた時に、長く振り子のように歌います。……それぞれがもう少し遠くに飛ぶように。

……“Die-sen Kuß der gan-zen Welt!”(～662小節)まで繋がらない!? 今、最初は出足すごい良かったですけど。だから息が足りなくなるとともにテンションが落ちていくのを修正して。

● 655 【～】 今までは皆さんコーラス四声帯の良さを十分に発揮したと思いますが、ここからはそれぞれのパートの戦いです。

……(729小節まで通して)皆さん戦いのほうが得意なんですか?? それぞれが主張し合うのは悪くないですよ。



◇ 658 【ly-si-um,】 “…um,!”? 私、誰ですか?? 「ウめだ」とドイツ人は言います。日本の“う”じゃなくて「ウめださん…」の“…u…”にしてください。(口の)奥で。……“う”の梅田!? “…um,。”

◇ 662 【Hei-lig-tum!】 一番底(得意でない)になるのね。そこを聴きたい。

◆ 664 【Freu-de!~】 人数の少ないソプラノは少し辛かったかもしれないけど、“Freu-de!”って合の手を入れるところ(ソプラノ:664,666小節、アルト:672,674小節、テノール:680,682小節、バス:694,696小節)、やっぱり皆さんは“への字”になって“どうだ!”って顔されます!? 歌ってから僕の顔見ない!!(笑)。“Freu-…”前に飛び出るぐらいで主張してください。そうじゃないとこうした声が入り乱れた中で聞こえてこない。息を溜めて“スポン!”、“Freu-de!”。

♠ 730 【Ihr stürzt】 “イ…”じゃない“lh…”でしたね。さっきソプラノにもお願いしたけど、皆さん得意分野・不得意分野の色分けがはっきりしてるんだけど!?

● 730 【Ihr stürzt~】 ここもね、なんだか腫れ物に触るように歌ってるでしょ。ここの歌詞はさっきどこで聴きました?? (631小節) だから不気味に歌うというよりもちゃんとリズム通りに言葉を喋っていかないと。

……“イ…”じゃない“lh…”でしたね。さっきソプラノにもお願いしたけど、皆さん得意分野・不得意分野の色分けがはっきりしてるんだけど、“Ihr stürzt nie--der, Mil--li-o--nen? Ah--nest du …”ってずーっと連鎖していかなきゃいけないから、音の高低でエネルギーが分散しないように工夫してください。

……どうも皆さんお見受けするところ、歌いならら全部後ずさりするイメージがある!? 僕どんどん近づいて一歩前を出てるんですけど(笑)。皆さんは近づいてきてください。だからこれだけ遠くにいるんです。だって(目の前)ここにオーケストラがいるんだもん。皆さんは会場にむかって歌うでしょ。ここに向かっ

て僕の顔に向けて歌ってるんじゃないから。皆さんその狭い空間で一步前が出る感じで“lhr stürzt nieder Mil-li-o-nen”と攻めてきてください。そういう音楽だから。

……今、引っ込んだでしょ!? 意識ない!?

……気持ちはありがたいけど、テンポまで前に行ってますよ!? 気持ちを前に。

……今特別にねピアノはサービスして(リズムの)中味を弾いてもらってるんだけど、皆さんそれに負けてるでしょ!! サービスを受けてください、おもてなししてますから。

♣ 737 【Welt?】 音程が微妙でしたけど、良いリズムでした。

♡ 738 【Such' ihn】 これは辛いね、低いから。でも意義を出しましょう。アルトの魅力は色気です。

……もっとゾーツとするように出して。

……バス、テナー、ああ回ってきたあ…じゃ息が出ないんです。全部出して、すぐ吸えるから。

● 745 【zelt! Brü~】 “Brü-der!”(745748小節)は2回とも“Brü-”のほうに力を6。“-der!”に4。今は半々というか、どっちかという“-der!”が増えてる!?

○ 745 【zelt! Brü】 “…zelt!”をちゃんと歌わないうちに“Brü…”って急いでいる感じがする!? “nen-zelt! Brü-der!”は全然違う呼びかけです。慌てないで。

……(“…zelt!”をしっかり歌いきって“Brü…”)理解できました?? マイク潰れてない!?!? 理解できましたあ???? そのための練習ですから稽古は厳しいですよ!! だから覚えてください。

……何人か正しいけどまだ突っ込んでるね。突っ込んででも良いから“Br…”で待ってて。“…r…”はいくら巻いちゃっても良い。だけど“…ü…”に行っちゃったら終わり!! “…zelt!”が短く“Brü…”だと漏れたことです。ね、漏れないでください。

……“Brü…”に力が溜まらない!! 呼びかけですから。集結しない。呼びかけにならない!? ね、2回(748小節)呼びかけなきゃいけないぐらいのエネルギーで。……本気で“Bru-der!”歌って!! 一応“…zelt!”歌ったつもりで…はい1回目。

……あと4倍のパワー!! 美しい声。それで“Bru-der!”のバランスは6:4。

……良いじゃないですか。でもこんなに大きい声出さないと本気出さないの、皆さん。じゃ一生出ないの??? いつも本気出してないと!!! ステージに立ってお客さん入った、九響が来た、では本気出ないですよ。大丈夫?? この練習を積み上げないとダメですよ、ここに居ない人も。なんで本気って言わないと出ないの?? 出せるじゃない!! 出し惜しみっていうんですよ。

● 749 【ü~】 (745748小節で)“Brü-der!”“Brü-der!”と呼びかけた向こうに“ü--ber'm Ster---nen-zelt…”というのが広がってるんですよ。そこを皆さんは仕切り直して強力なcresc.!? それは全然質の違ったcresc.です。キューツと攻めるのは無しです。漂ってきてください。

……テンポは?? どうなってる? どうなってる?? 遅れてる!! わからなければ遅れは取り戻せない。まず遅れてます。……遅おい!!!!…と思わない!?!? 棒見てて思わない??

……??そこ(<>)書いてあるう?? 癖なんだけど!?!? いきなりそこで別世界広がった瞬間にこねくり回してるんだけど、自覚ありい!?!? cresc.するにしてもその後(751小節)でしょ!! “ü-ber'm”には何もないんだよね。そこはハーモニーを。皆さんとくいんではないかもしれないけど喧嘩するところじゃなくてハーモニー味わうところなんです。

……やったねその癖(cresc.)ね!? やっちまったね!?!? そこは味わう所。癖がとれないなあ!?!? …僕が怒ってもしょうがない。皆さんが自覚しないと。僕のためにするんじゃないです。書いてあることをやってただく。今は皆さんにいつしか付いた悪い癖です。そこに書いてないです、cresc.も“<>”も!! 覚えて帰りましょう。……まだ自覚されてない方がアルトにおられるけど!?!? ご自身のことと思って皆さん楽譜をご覧になってください。“ü-ber'm”のここはハーモニーを味わうところですよ。ね、自己主張するところじゃないです。



……ベートーベンが意外な展開を見せたんですよ。皆さんの歌声だと意外性が出ないんです。“Brü-der!”(745小節)“Brü-der!”(748小節)その向こうに全然違う世界が広がりたいんです。ご理解いただけない方!?大丈夫?? じゃ泣いても笑ってもコレ最後ね、あとは僕が見捨てるだけだからね。

……“ü-ber'm”の所、良かったね、みなさん味わえた?? 美しかったです。O.K.よ。そんな難しい顔しないで。やっと体得しました?? でも“Brü-der!”、“Brü-der!”…“Ster---nen-zelt”の“Ster---”は忘れたね。空がフワッと広がっていくcresc.ね。ウツッと手で拳を握るcresc.や小指を立てるcresc.じゃなくて。“Ster---nen-zelt”という広がり。で、広がってるうちにテンポも広がったよね。

……だめじゃなくてコツです。“ü-ber'm”の“…'m”をおっしゃってないから(751小節)“S…”が合わないんですよ。“…ber'm Ster…”ここ速いですよ。“Ster…”で終わらないでね(笑)。忙しいのは“…ber'm S…”。“…ter…”からゆっくり。“St…”に入ったら“Ster---nen-zelt”の世界。

……今日はこのぐらいにしておこう(笑)。まだね皆さんは「いやいや行かないで!!」って感じですよ。すごいテンポでピアノは弾いてるけど!? 皆さん遅れてるよ!! 遅くなる癖ついてるよ!!!! はい。自覚してください。

● 751 【Ster--~】 “ü-ber'm”と歌って、それで“Ster---nen-zelt…”で少おし脹めば良いんです。それをギュッと押しつぶさないで空が広がるように音を拡げれば良いんです。イメージでね。



● 758 【ein_~】 ここから“-nen.”(762小節)までだんだん弱く軽くなっていくように楽譜は書いてあるね。そこで遅くなってとは書いてないんです。皆さん弱くならず遅くなってる!? 遅くならないで弱く軽く浮き上がるようにして“woh---nen.”と切れています。

……かなりサービスしてピアノを前に弾いてくださっていますから、みなさんがそれを聴きながら、遅れまいとしながら音楽表現ですよ。ただ時間さえ合えば良いんじゃないですよ。“星空のかなたに…”というイメージ、広がりました?? 今の歌い方は“…間に合ったあ…”(笑)。

○ 762 【-nen.】 “-nen.”の入りが遅い。なかなか癖が取れないですね!?

● 795 【Dei-ne Zauber,~】 cresc.してくださった!? cresc.のコツは?? “Dei-ne Zauber, Dei-ne Zauber,”喋って歌うのは良いですよ。でも“bin-den wie-der, bin-den wie-der,”をまた後ずさりしたでしょ!? 前に行くためには語尾で増えていくんですよ。

……(803小節まで歌って)良くなったでしょ。ということが自分に自信をつけていくことですよ。

● 801 【was die Mo-de~】 “was”足りない!? “was die Mo-de”の“Mo-de”。それをおっしゃれば“streng_ge-teilt.”は上手に歌えます。2つお願い。cresc.で語尾を強めに歌っていくこと“was die Mo-de”。

● 809 【Men-schen,al-le~】 “al-le…”に入ろうとしているとき遅くなるうとしているでしょ!? で「しまった」って(810小節)“-schen”に早く入ってるでしょ!? そのPoco adagio見えた瞬間に遅くなるうとするでしょ!? でも指揮は行っちゃったから「あ、やばい」と思って“-schen”を速く歌って済ませてるのね。(遅くなるのは810小節から。ここまではそのまま)

● 810 【Men-schen wer-den~】 (806小節)“Al-le Men-schen, al-le Men-schen, al-le Men-schen, al-le Men”(ここまで行きますから、その後は僕の指揮を見てください。それまではまったくの躊躇なしに。

……楽譜をゆっくり見ましょう。“Men-”はアクセントですかdim.ですか? dim.が良いですから。“-schen”はp。間違っていないよね。皆さんの“-schen”はpになってないよね!? ちなみにベーレンライターは“Men-”がアクセントになっていますが、いずれにしても“Men-”の強さを引きつぐわけにはいかないの

で、dim.になっても大丈夫なんですけど、必ず“-schen”はpになってくださいね。ご理解いただけました??

……指揮をぜひご覧になってください。テンポがかわってますから冒頭の“… Men-”まで指揮見なく良いって言いましたが、“-schen”は必ず見てください。

……もうちょっと指揮をしっかりと見られますか、(テンポを)キャッチできますか?? いつ“-sc…”なのか、指揮棒と待ち合わせしましょう。

……指揮見て!!!! “Men-schen”って差し上げるから指揮見て。皆さん毎年、指揮者と練習してきたんでしょ?? 大丈夫?? なかなか手強い合唱団だねえ…。僕も100回超える第九をやってますけど、なんか手強いわ。そしてこんなに大きな声でリハーサルすることも皆さんにはびっくりかもしれないけど、僕もびっくりですよ!! なかなか本気の声が聞こえないから!? …ご理解いただけました?? はい、頑張ろう。

● 812 【sanf-ter~】 (806~814小節を歌って)はい。どうなったかがおわかりになれば良いです。そこに悪い癖が潜んでいます。(ここから814小節にかけて遅くなってしまっている!?)

◆ 814 【_~】 ギリギリ(テンポは)セーフね。そこ(812小節)船こがないで漂った中で十分に遊んでください。今、遅くなるのが遊びになっている!?

○ 832 【Men-schen!】 “Al-le Men-schen!”そのまま。遅くならない。

……ああやった!? (“…n!”は口を閉じて終わらない!!) “Men-schen!”の“…n…n!”2つとも鼻に響かせる) 剣道で“めーん!”を“めーむ!”と言わないでしょ。鼻にちゃんと響くように。日本語で言う“ぬ”、それがエヌになって“…n…”。しりとり的なダメなやつは“ん”、(よく聞こえない時の“ん?”のイメージを示し)結局、鼻でしょ。それをテンポで歌い切る。

● 885 【Welt! der~】 “Welt!”(ほかに885,887,891,893小節)、さっき(610小節)やったよね“え”にならない“…e…”。“Welt!”をおっしゃるといことは“der gan-zen”がセットになってなきやいけないんです。“der gan-zen Welt! der gan-zen Welt!”。それは塊です。“der gan-zen”から“Welt!”にベクトル向かうんです。皆さんは“…Welt!…Welt!…”しかないの?? その矢印を感じてください。

● 916 【-ter aus E~】 “E-ly-si-um!” p!! p!!!!。嘘を歌わない!!。書いてあることをやりましょう。……“Toch--ter aus E-ly-si-um!”、“… E-ly-si-um!(楽園)”。

○ 920 【fun-ken!】 “-ken!”(“n”であって“m”ではない)。はい、笑顔!! これにておしまい、お疲れ様でした。

◆先生のこだわりに納得! 本当にすごい! 第九の「深み」が味わえます! ありがとうございます! (京)



◆梅田先生のバイタリティあふれるご指導、楽しく元気が出ました。おつかれ様でした。Fight!(JuJu)
◆梅田先生! ご指導ありがとうございました。とてもわかりやすかったです。忘れずに次回も頑張ります。(H.K.)

◆指揮をしっかりと見て歌います!!
◆今日は運動会と重なり、人数が少なくてとても不安でした。でも指揮者の先生のご熱心なご指導は来てよかったと思われました。今までと異なることも多く録音機を忘れたことが悔やまれます。
◆運動会后、急いで向かってきたので、もう少し練習できたらという感じでした。子どもへの修正が…不安です。
◆学校の運動会でおくれて練習を始め、5分ぐらいしか練習できず…こんどはいっぱい練習したい!

◆次回、頑張ります♪ 車の中에서도歌っています!
◆すごくわかりやすかったです。とても良かったです。
♥キビしいチェックでキンチョーしたけど、ついていきたいです。頑んばるぞー!
♥今からがんばって練習します。よろしくお願ひします。
♥すばらしいご指導でした。改めて初心にかえり、楽譜を見直さねばと思ひました。昨日の「サラダコンサート」にたくさんおいでいただきありがとうございました。

おもてなしの料理は完食になりました。食のハーモニー、私達にとりまして喜びでした。(イマカン)

♥梅田先生に指導していただきました。悪いクセがなおりつつあります。もっともっと練習が必要ですね。お疲れ様でした。

♥梅田先生の練習でしたことをこれからも生かしていきたいと思えます!

♥今までかなり違った解釈で新鮮な気持ちで歌えたと同時に真剣に取り組まないといけない!と身の引き締まる思いでした。

♥梅田先生の指導をうけて、自分はまだ練習不足だなと感じました。

♥今日習ったことを全部吸収して次に生かしたいと思えます。楽しかったです。

♥前回は1日かちがいで欠席でした。ぼけてしまった。のかなと…忘れたことにショックでした。すみません。今日は抽象的で私にはむずかしかった。けど、みなさんのハーモニーがだんだんきれいになっていくのがわかった。

♥厳しい!! でも勉強になりました。頑張ります。

♥緊張しました。予想以上に速いテンポでしっかり指揮を見て歌えるよう、がんばりたいです。

♥梅田先生の御指導、久々にきびしいお言葉、やはりわかっててもルーズに歌っている所の指摘、今度みえられるまで同じ間違いを指摘されない様、柳田先生、お願いいたします。

♥今日は梅田先生の指導で本番のことを思いながら歌いました。あ

りがとうございました。いろんなきびしく指導してもらった点、忘れないかなあ…

♥梅田先生のご指導をしっかりメモし頑張りたいと思います。かなりきびしかったですね。(ヨッチン)

♥運動会で駆けつけましたが終わりかけで歌えませんでした。残念です。

♥みんなうまくてびっくりしました。

♥今日は勉強に色々なりました。がんばりたいと思えます。

♥きびしい練習でした。忘れているところが多く、仲々ついていけないぞ〜。(ミツちゃあ〜ん)

♥正面での練習でとてもこわかったです。

♥大変。本番がこわくなりました。もっと気合を入れて…。だけではどうにもならないかも。でもやるっきゃないですね。前向きに!!(leoのママ)

♥(空を)横に飛んでる感じ…新感覚でした!! ^_^

♥指揮者指導日なのに団員が少ない。録音したテープでがんばって練習してきます。

♣みなさん、こんにちは。今日は梅田先生のありがたいご指導でした。身に覚えのないわるいくせをたくさんいっぱいどっさり指摘を受けました。なおしたいので精一杯なおしてみせます。がんばります。たのしいです♡!



♣指導者によってこんなにも指導方法が違うのとまどってしまいました。難しかったです。

♣厳しい!(T.Kawa)

♣毎日に難しさを感じます。今日はテノールの出席者たった二人。梅田先生みえたのにさびしいなあ!

♣みんなでドイツに行きましょう。(ねこふんじゃった)

♣厳しい御指導でした。緊張する練習で疲れました。問題山積みです。けれど指摘されている点は柳田先生から常々言われてることですよね。漠然と練習しない様になければ。消去することなく。

♣学生時代を懐かしく思い出しました。腹・背筋を鍛えます!ラグビー全日本に負けない様にガッツで頑張ります!

♣たのしかったです。

♣運動会で出席がおそくなった。

♠今日は勉強になりましたが、疲れました。

♠思った以上に厳しかった。出来てるとは思ってなかったけど、実は全然出来てなかった。ショックでした。

♠頑張ります。

♠充実した練習だったと思います。今日教わったことを次回以降活かしていきたいです。

♠私も練習中、癖のついている部分があると思うので偉そうなことは書けないが、“ü-ber’m”と“ü-ber”の区別がない団員が多すぎ。“ü-ber’m”を“ü-ber”と“…’m”省いちやうもんだから743小節とか750小節のところを厳しく指摘されたわけ。楽譜の歌詞“ü-ber’m”のここはしるし付け(砂糖大根農家)

●編集後記

次回は11月4日(月)18:30~21:00

入会申込書ご提出の後に作成する二つ折りの会員カード、見当たらない方は出席カードに書いておしらせください(内容の誤りや変更は会員カードを訂正して私までどうぞ)。前回の指揮者の指摘は大量です。「何度も同じことが書いてある!?’と思わないでください。何度も同じ注意を繰り返されたのが私たちの癖のついてしまった「第九」なのです。本番は楽譜を持って歌いますが、頭に保存を… munenori@horita.jp